



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社プロディライト 上場取引所 東
 コード番号 5580 URL <https://prodelight.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小南 秀光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 金森 一樹 TEL 06 (6233) 4555
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績 (2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,502	—	123	—	127	—	81	—
2022年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	57.52	—
2022年8月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2022年8月期第3四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2023年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	929	350	37.7
2022年8月期	864	269	31.1

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 350百万円 2022年8月期 269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,008	13.0	156	41.4	152	33.2	101	23.4	70.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	1,411,650株	2022年8月期	1,411,650株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	－株	2022年8月期	－株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	1,411,650株	2022年8月期3Q	－株

(注) 1. 当社は、2022年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

2. 当社は、2022年8月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化、資源価格等の高騰、円安の影響に伴い国内物価の上昇が続いていますが、新型コロナウイルス感染症対策に対する行動制限の緩和に伴う人流及びインバウンドの増加、賃上げ率や株価の上昇など景気は緩やかな回復傾向が見受けられます。

当第3四半期累計期間におけるクラウドPBX及びIP電話サービスの市場は、「テレワーク」、「オフィスのフリーアドレス化」等の働き方改革に関連した需要を取り込み、好調を維持しております。

このような状況のもと、当社では、自社開発のクラウドPBX「INNOVERA」を中心に、様々なIP電話回線、スマートフォンアプリ、ネット回線、固定端末をワンストップで提供することにより、お客様の電話環境のDX化の実現など、更なる収益力の向上に取り組み、2023年2月に「INNOVERA」AIオプションの第3弾として、音声通話からユーザーの感情を分析できる「INNOVERA Emotion」をリリースいたしました。また、2022年9月より開始したパートナープログラムにより、販売代理店とのパートナーシップ強化を通じた販売力の強化に取り組んでまいりました。今後もお客様の利便性が向上するための新機能開発、新しいビジネスフォンの用途の提案を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,502,787千円、営業利益123,870千円、経常利益127,485千円、四半期純利益81,191千円となりました。

なお、当社は全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める音声ソリューション事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメントごとの経営成績の記載は省略し、サービス区分別の状況を記載しております。また、2022年8月期第3四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は行っておりません。当第3四半期累計期間におけるサービス区分別の状況は、次のとおりであります。

(システムサービス)

システム関連サービスは、前事業年度に引き続き、顧客のDX需要が堅調であり、パートナープログラムも奏功したことから、「INNOVERA」のアカウント数を順調に伸ばしました。その結果、売上高470,639千円、売上総利益287,642千円となりました。

(回線サービス)

OABJ型IP電話回線サービスは、「INNOVERA」のアカウント増に伴うチャネルの増加のほか、既存顧客の事業や拠点拡大等によるチャネル追加があったことから、「IP-Line」の総チャネル数が増加いたしました。その結果、売上高797,576千円、売上総利益340,445千円となりました。

(端末販売)

端末販売は、「INNOVERA」の大型案件の導入に伴うYealink社製SIP端末の販売が好調であったことから、販売台数が増加いたしました。その結果、売上高198,829千円、売上総利益66,265千円となりました。

(その他)

その他の売上高につきましては、売上高35,741千円、売上総利益35,741千円となりました。

当社はストック型ビジネスモデルのため、「INNOVERA」のアカウント数(利用端末数)、及び「IP-Line」のチャネル数(同じ電話番号での同時利用可能者数)を伸ばし、アカウント及びチャネルの解約率を低く抑えることが安定した収益拡大につながります。そのため、「INNOVERA」の増加アカウント数と解約率、「IP-Line」の増加チャネル数と解約率、リカーリング(継続)売上高比率を重要な経営指標と考えております。当第3四半期累計期間において「INNOVERA」総アカウント数及び「IP-Line」総チャネル数については、パートナープログラムが奏功し、順調に推移しております。一方で月平均解約率はアカウント及びチャネルのいずれも、ポストコロナで大規模コールセンターの縮小による解約等の影響を受け、上昇しております。また、リカーリング売上高比率は、SIP端末販売が好調だったことで、総売上高に対する比率が増加した影響により、微減となっております。2021年8月期以降のこれらの重要な経営指標の推移は、以下のとおりであります。

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期 第2四半期	2023年8月期 第3四半期
「INNOVERA」総アカウント数(アカウント)	20,474	26,829	30,497	31,884
月平均解約率(アカウント)(%)	1.17	0.64	0.69	0.86
「IP-Line」総チャネル数(チャネル)	44,780	53,448	58,516	61,820
月平均解約率(チャネル)(%)	1.48	0.85	0.90	0.93
リカーリング売上高比率(%)	74.6	79.5	80.8	79.2

(注) 1. 「INNOVERA」総アカウント数は、期末時点の「INNOVERA PBX1.0」と「INNOVERA PBX2.0」の契約アカウント数の合計です(「INNOVERA Outbound」のアカウント数は含みません)。

2. 月平均解約率(アカウント)(%)は、「INNOVERA PBX1.0」と「INNOVERA PBX2.0」の当月解約アカウント数÷前月末の契約総アカウント数で毎月の解約率を計算し、その12ヵ月(第2四半期は6ヵ月、第3四半期は9ヵ月)の平均を記載しております。

3. 「IP-Line」総チャンネル数は、期末時点の「IP-Line」契約総チャンネル数（OEM含む）の合計です。
4. 月平均解約率（チャンネル）（%）は、「IP-Line」の当月解約チャンネル数÷前月末の契約総チャンネル数で毎月の解約率を計算し、その12ヵ月（第2四半期は6ヵ月、第3四半期は9ヵ月）の平均を記載しております。
5. リカーリング売上高比率は、リカーリング・レベニュー（システムサービス売上高+回線サービス売上高-初期導入費用）÷総売上高で計算して、記載しております。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は929,815千円となり、前事業年度末に比べ65,441千円増加しました。その内容は、以下のとおりであります。

当第3四半期会計期間末における流動資産は、759,116千円となり、前事業年度末に比べ65,961千円増加しました。これは主に現金及び預金が59,053千円、売掛金が15,643千円、貯蔵品が2,129千円、その他が9,494千円増加した一方、商品が20,129千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産は、170,699千円となり、前事業年度末に比べ520千円減少しました。これは主に有形固定資産が3,083千円、無形固定資産が10,834千円増加した一方、投資その他の資産が14,439千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は579,499千円となり、前事業年度末に比べ15,750千円減少しました。その内容は、以下のとおりであります。

当第3四半期会計期間末における流動負債は、369,989千円となり、前事業年度末に比べ45,513千円増加しました。これは主に買掛金が5,666千円、未払法人税等が18,193千円、1年内返済予定の長期借入金が4,284千円、その他が28,158千円増加した一方、賞与引当金が8,957千円、訴訟損失引当金が1,831千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定負債は、209,509千円となり、前事業年度末に比べ61,264千円減少しました。これは主に資産除去債務が4,375千円増加した一方、長期借入金が53,613千円、社債が10,000千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、350,316千円となり、前事業年度末に比べ81,191千円増加しました。これは、四半期純利益81,191千円による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2023年6月28日の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,334	443,387
売掛金	242,932	258,575
商品	50,153	30,024
貯蔵品	928	3,058
その他	15,115	24,610
貸倒引当金	△309	△540
流動資産合計	693,154	759,116
固定資産		
有形固定資産	38,905	41,989
無形固定資産	58,928	69,762
投資その他の資産	73,386	58,946
固定資産合計	171,220	170,699
資産合計	864,374	929,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,587	100,254
短期借入金	15,000	15,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	66,248	70,532
未払法人税等	16,129	34,323
賞与引当金	20,072	11,115
訴訟損失引当金	1,831	-
その他	90,606	118,765
流動負債合計	324,475	369,989
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	223,690	170,077
資産除去債務	33,243	37,619
その他	3,841	1,813
固定負債合計	270,774	209,509
負債合計	595,250	579,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,495	99,495
資本剰余金	89,495	89,495
利益剰余金	80,134	161,326
株主資本合計	269,124	350,316
純資産合計	269,124	350,316
負債純資産合計	864,374	929,815

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,502,787
売上原価	772,693
売上総利益	730,094
販売費及び一般管理費	606,223
営業利益	123,870
営業外収益	
受取利息	2
保険解約返戻金	11,739
その他	330
営業外収益合計	12,073
営業外費用	
支払利息	2,296
上場関連費用	4,753
その他	1,408
営業外費用合計	8,458
経常利益	127,485
税引前四半期純利益	127,485
法人税、住民税及び事業税	48,985
法人税等調整額	△2,691
法人税等合計	46,293
四半期純利益	81,191

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

当社は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める音声ソリューション事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(一般募集による新株式の発行)

当社は、2023年6月28日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年5月25日及び2023年6月8日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2023年6月27日に払込が完了いたしました。

- | | |
|----------------|--|
| ① 募集方法 | : 一般募集(ブックビルディング方式による募集) |
| ② 発行する株式の種類及び数 | : 普通株式 150,000株 |
| ③ 発行価格 | : 1株につき 1,440円 |
| | 一般募集はこの価格にて行いました。 |
| ④ 引受価額 | : 1株につき 1,324.80円 |
| | この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。 |
| | なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。 |
| ⑤ 払込金額 | : 1株につき 1,190円 |
| | この金額は会社法上の払込金額であり、2023年6月8日開催の取締役会において決定された金額であります。 |
| ⑥ 資本組入額 | : 1株につき 662.40円 |
| ⑦ 発行価格の総額 | : 216,000千円 |
| ⑧ 引受価額の総額 | : 198,720千円 |
| ⑨ 資本組入額の総額 | : 99,360千円 |
| ⑩ 払込期日 | : 2023年6月27日 |
| ⑪ 資金の用途 | : 当社サービス「INNOVERA」の開発費用及び広告宣伝費のための運転資金並びに借入金返済等に充当する予定であります。 |